

「(仮称)藍彩子どもの遊び場」

計画・設計編ニュース

②

2018年11月発行

問い合わせ：広川町建設課 0943-32-1157



計画・設計の流れ

WS1	7/26	(遊び場のコンセプト等)
WS2	8/28	対象地の日常利用イメージづくり
WS3	9/21	施設配置の検討
WS4	11/22	基本プランの確認
WS5	12月	実施計画案の報告
WS6	翌2月	(運営計画のみ)

計画・設計のプログラム

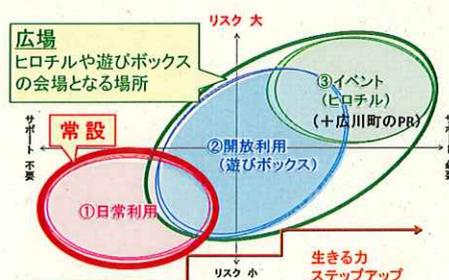
1. 日常利用イメージの確認 (WS2の振り返り)
2. 空間構成の方針
・ 広場と常設遊び場のバランス検討
3. 配置検討案の説明と意見出し

9月21日の「チルドレンズパークワークショップ3」内の「4.計画・設計の経過共有②」にて、WS2の振り返りのあと、広場と常設遊び場のバランスについて検討し、各班で意見を出し合いました。

■空間構成の方針 (広場と常設遊び場のバランス検討)



敷地の奥(紫色)が駐車場となり、園内道路を新設します。車の動線は左図の青色矢印の2つです。子どもたちの安全確保のため、駐車場側と藍彩市場側への出入口に見守り・休憩エリアを設置します。敷地中央には子供たちが遊ぶ広場と常設遊び場になるため、その大きさのバランスと広場の舗装について検討しました。広場は日常利用ではのみではなく、ヒロチルや遊びボックスの会場となる場所のため、過去のヒロチルや久留米大学が検討している幼児の体力測定に必要な広さを検討材料としました。



敷地中央には子供たちが遊ぶ広場と常設遊び場になるため、その大きさのバランスと広場の舗装について検討しました。広場は日常利用ではのみではなく、ヒロチルや遊びボックスの会場となる場所なため、過去のヒロチルや久留米大学が検討している幼児の体力測定に必要な広さを検討材料としました。

広場

常設遊び場

(1)ヒロチル会場の大きさ

●ヒロチル1 : H29/9/10
「いこっと」約 400㎡

●ヒロチル2 : H29/11/26
「農村広場」約 875㎡

●ヒロチル3 : H30/9/30
「藍彩市場」約 750㎡
(台風のため中止)

(2)久留米大学の体力測定
企画に必要な広さ

●体力測定内容

- *25m走
- *幅跳び
- *投球・捕球
- *平均台

■この公園にどの広さが適しているか、また芝生と土舗装のどちらが良いか考えました。

まずは広場の大きさについて、過去のヒロチルや久留米大の企画に必要な大きさを踏まえながら、どの案の大きさが適しているかを個人で考えました。それを班の中で発表し、みんなの意見を聞いた上で、班ごとに1つの案に絞りました。また同様に広場の舗装についても芝生と土舗装のどちらが良いかを検討し、班で1つに絞りました。その他に自由意見があれば記入しました。

1班



A案

班で選んだ案

理由：「子どもを遊ばせる」ことを重視。お母さんと子ども、ママ友。広場で遊びたいなら別の場所へ。

(A案)

- 広場と遊び場のバランスが良い。
- とりあえず行けば遊び始められる。

(C案)

- 大小イベントする広さが必要。

芝生

班で選んだ舗装

(芝生)

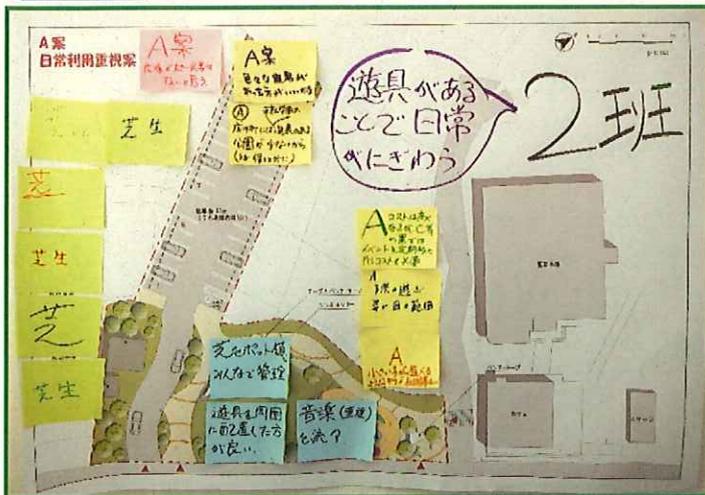
- ケガ防止。
- グリーンが気持ちいい。

自由意見

- 休憩エリアは広場・遊具が全て見渡せるようなレイアウトが望ましい。
- 芝生ならクッションになるので、登れる壁がほしい。
- インスタ映えのポイント



2班



A案

班で選んだ案

理由：広場が大きい必要がないと思う。遊具があることで日常がにぎわう。

(A案)

- 色々な遊具があった方がよい。
- 広川町には未就学児用の遊具のある公園が少ない。

芝生

班で選んだ舗装

自由意見

- 芝をポットで植え、みんなで管理
- 遊具を周囲に配置した方がよい
- 音楽(童謡)を流す。



3班



班で選んだ案

A案

理由：遊具があると日常利用がしやすい。

(A案)

- 広場と遊び場のバランスが良い。
- 物があることで遊びから自然と体力がつく
- 普段遊べるスペースがある方が子どもは喜ぶ。
- もう少しだけ大きい子ども。

班で選んだ舗装

芝生

(芝生)

- 身近に芝生の公園がない。
- (両方)
- 半分ずつ

自由意見

- ゴム舗装も一部導入したら



4班



班で選んだ案

A案

理由：遊びに来る回数が多くなる。

(A案について)

- 常設がある方が人は集まりやすい。
- いつでも遊びに行くことができる。
- イベント時だけステージを借りる。

班で選んだ舗装

芝生

- 転んでも安心。
- カフェに近いから砂ほこりは嫌。
- レジャーシートを敷いてゆっくりできる。

自由意見

- 道路の車の行き来があまり気にならない環境に。
- 排気ガスが気になる。
- ゴミは？

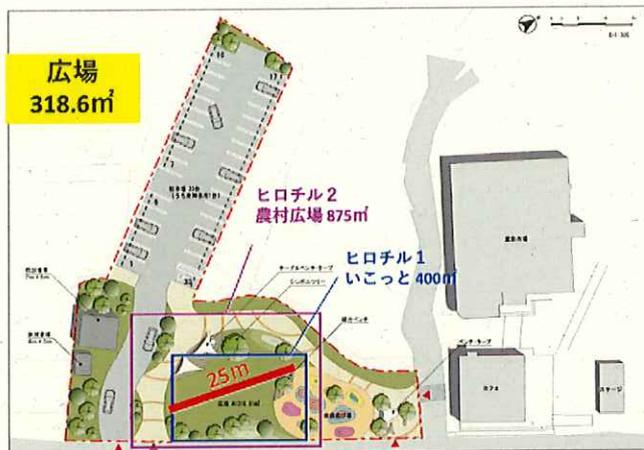
■まとめ

全ての班がA案と芝生の広場を選択していました。常設の遊び場が充実していることにより、この(仮称)藍彩子どもの遊び場が日常的に利用されることを望む声が多数でした。また、広場の舗装についてはほとんどの方が、芝生が良いと回答していました。他の公園にはなく、子どものケガの心配を減らして遊ばせる環境が期待されているようです。

WS4では、A案を基に予算調整などを行った基本プランで、より詳細を検討していきます。

空間構成の方針を基にした3案について、広場と常設遊び場の大きさ等を検討しました。

◎A案 日常利用重視案



◎B案 イベント・日常利用バランス案



◎C案 イベント重視案



◎広場の舗装

芝生（天然芝）

- ◆ 土舗装と比べるとやや高価
- ◆ 維持管理にコスト・労力が必要
- ◆ イベント時には段ボール等による養生が必要な場合がある。
- ◆ 転んでもケガをしにくい。

土舗装

- ◆ 安価
- ◆ 乾燥すると砂ぼこりが舞う
- ◆ 濡れた状態で遊ぶと汚れる（→どろんこ遊び）